



# 環境支援士

発行日 2020年9月30日

発行責任者

滋賀大学「環境学習支援士」会

第25号

理事長 橋田卓也

URL : <http://shienshi.com/> Email : [shienshikai@yahoo.co.jp](mailto:shienshikai@yahoo.co.jp)

編集責任者 佐瀬章男

## § 2020年度コロナ下での総会報告 §

理事長 橋田卓也

2020年度総会議案書は（平成31年度経過報告、令和2年度活動方針）承認（会員35名中29名の承認）を得ることができました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月12日（日）総会を5月9日（土）に延期しましたが、政府の緊急事態宣言（4月7日～5月6日）が出されました。県内での感染者数が増えており、感染防止の観点から4月10日（金）第145回理事会で、5月9日の総会中止を決めました。5月9日総会の平成31年度経過報告、令和2年度活動方針に対して、（総会への一般会員25名中）返信は20通で委任状での承認は20名でした。理事に対して、議案書に追加して平成31年度決算書・監査報告、令和2年度予算書、新年度役員候補者名簿をお送りし4月20日までに理事9名の確認を得て各種議案がすべて承認されました。議案について意見を求めましたが、特に追加の意見ありませんでした。今後、緊急事態における総会の書面決議規定を設けるため規約改正を行います。今回の総会延期、中止に関して神部教授、事務局、総会後の研究発表予定者の皆さん、ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

## § 金勝川わくわく環境塾報告 § ～8月1日（土）

佐瀬章男

2020年度の「わくわく環境塾」は新型コロナの感染拡大で開催を躊躇しましたが、8月には終息に向かうと予測しながら募集を始めると、予想以上の応募で今年も栗東市役所の環境政策課で抽選会を7月16日に実施しました。8/1当日は心配した猛暑もなく、川の水量をマズマズで、小学生31名、保護者33名、幼児7名の合計71名に当会会員が8名、栗東市から3名で総計82名の参加者でした。多人数で3蜜回避での開催でしたが、密集防止は今後の課題です。

### ① アンケート結果、写真

子どもたちからのアンケートはほとんどが楽しかった。来年も来たい。水の中での時間がもっと長かったらよかった。知らなかった生き物の名前がたくさん解った。沢山魚がとれてうれしかったなど。感動的な児童の記載は「水の大切さがわかってきた」でした。

### ② 成果と課題

コロナウイルスの感染が心配される中での観察会でしたが、大きな問題もなく又天候にも恵まれ支援士会スタッフの人数も8名で参加者をサポートし、なんとか終了しました。

### ③ 今後の方向

水質調査に対して、理解を深める工夫を今後の課題として残したい。前日の会場準備は必要と思われる。



## § 豊郷小学校出前講座見学 § ～講師はフローティグスクール職員の皆さん～ 橋田卓也

8月25日の午後「うみのこ」の出前講座の相互交流。1時限は、「びわ湖の漁業・食文化」の授業でびわ湖の[待つ取る漁業]の特徴や、びわ湖の食文化やびわ湖八珍の紹介が行われた。クイズ形式でびわ湖八珍とは！びわ湖の恵みを感じよう！びわ湖の漁法を書きましょう！と電子黒板や漁具等を用いて答えさせました。設問の最後は、びわ湖の貴重な生き物(固有種)が減ってきている原因とは何でしょうか、調べてみましょうとなっていました。2時限は、「びわ湖の生き物」ワークショップ(WS)活動で、最初に8枚のカード「在来魚、水草、外来魚、水、貝、人間、水鳥、プランクトン」の役割などの説明がされました。WSのテーマは、「生き物がすみやすいびわ湖を考えよう」でした。湖岸(砂浜、コンクリート湖岸)、魚(在来魚、外来魚)貝(セタシジミ)、水草(抽水水草、沈水水草)などの模型(磁石式ラベル)を湖岸のキャンバスに描くように6グループ(班分け)で取り組みました。講師から「在来魚を守る作戦・なっとく作戦名」を、各グループで描いたキャンバスに作戦名を掲げるよう求めました。作戦名の多くが「外来魚せんめつ作戦やぼくめつ作戦」でしたが、「みんなが住める作戦」と掲げたチームに、他のグループから共感の声が上がりました。(参加者:下山、川尻、園田、原田、佐瀬、橋田)



## § うみの子出前講座報告 §

前田 雅彦

コロナウイルスの影響で、今年は「うみのこ」学習はすべて日帰りとなり、また学校は長く休校になったので、出前講座の申し込みが少ない。今までに実施できたのは、甲賀市の3校(佐山小、大原小、油日小)と大津市の木戸小の4校だけである。油日小と木戸小に出前授業を実施してきたのでその報告をする。

### 1. 甲賀市立油日小学校

油日小は県の中でもびわ湖から最も遠い小学校である。草津線の隣の駅は三重県の柘植である。このようにびわ湖から遠い子どもたちはびわ湖についてどのように思っているのか、興味があった。

校長の森幸一先生は、環境教育に大変熱心で、滋賀大の環境教育コースで学ばれた方で、川嶋先生、遠藤先生等滋賀大の環境関係の先生をよくご存知である。学校にはビオトープが整備されており、子どもたちがびわ湖に触れる機会が少ないのをカバーしておられるようである。授業は講義だけであったが、子どもたちは非常に熱心に聞いてくれた。びわ湖に普段触れる機会がないので、余計に興味があるようであった。質問で、外来魚は絶対にリリースしてはいけないのですかとの質問があった。後で校長先生から聞いた話では、油日の池でも外来魚が釣れるらしい。それでこのような質問が出たらしい、外来魚は在来魚の繁殖を妨げ、絶滅の危機になりかねないのでできるだけリリースしないようにと、説明したが。回収ボックスに入れると、外来魚が死んでしまい、かわいそうだと考えているようである。自然の摂理について、先生の方から後日話していただくようにした。

### 2. 大津市立木戸小学校

木戸小学校は、講義とWS両方の申請であり、特にWSをどのようにするか事前に検討し、グループ討議は避けて、半分はパワーポイントによる講義とし、半分は子どもたちに考えて選択し、選択した理由

を書いてもらう形式にした。講義は従来と同じ、びわ湖の昔今これからについて40分の講義をした。(木戸小学校ではコロナによる休校の関係で、1時限を40分にしている。) WSは10年後のびわ湖について10項目に減らして、パワーポイントで説明し、その後、子どもたち一人一人に、10項目のうちで大事だと思う2項目を選んでもらい、それぞれについて、選んだ理由を書いてもらう方式にした。その後、一人一人に選んだ項目を発表してもらい、黒板に張り出した表にみんなが見えるように記入し、みんながどれを選んだかがわかるようにした。パワーポイントで説明したのでその内容や、画面のわかりやすさ等で、少し偏った結果になった。説明の仕方、パワーポイントの内容を工夫する必要があるように感じた。私が担当したクラスでは、先生がみんなに、授業の感想を配った用紙の片隅に書くように指導してくださった。後でその内容を見ると多くの子どもたちがいい感想を書いてくれた。今後はこちらから子どもたちに感想を書いてもらうようにすべきと思った。



## 第17回男女共同参画をすすめる市民フォーラム & 第3回生涯学習推進フォーラム

佐瀬 章男

「私が変わる・あなたが変わる・まちが変わる」～誰もがいきいと自分らしく暮らせる社会にむけて～  
「男女共同参画をすすめる市民フォーラム」と「生涯学習推進フォーラム」が共同で開催されました。

日時：令和2年9月12日(土曜)13時30分～16時00分(受付は13時～)

会場：大津市生涯学習センターホール(大津市本丸町6-50)

当日は新型コロナウイルスの感染防止から参加者を絞って開催されました。

主催者、来賓も併せて150～160名でした。当会から前田さん、川島さん、佐瀬の3名が参加。

第1部「大津市民による生涯学習推進のあゆみ」

報告者 大津市生涯学習推進会議事業部会長 植田 公威さん

第2部 講演「女(ひと)と男(ひと) 豊かな生き方」 講師 ジャーナリスト 小宮山 洋子 さん

講演要旨 国会議員の経験から数字を使った話が多かった。

1、新型コロナウイルスのワクチン開発について

ワクチンは簡単にはできないだろう。過去の例「おたふく風邪」のワクチンは早くできたほうだがそれでも4年かかった。ワクチンを待つのでなくどうしたら出来るかを考えて進めることが必要。

2、日本と世界の人口動向

以前はピラミッド型(正三角形や二等辺三角形)であった日本の人口ピラミッドは、現在では真ん中で膨らむツボ型やいびつな型になっている。

女性が長寿なので、現在の日本は女性が52%、男性が48%で社会を支えていることになる。

65歳以上の高齢者は今どうなっているか。

高齢化社会：人口に占める高齢者の割合が7%を超えている状態 日本では 1970年

高齢社会：高齢化率は14%を超える 日本では 1994年

超高齢化社会：高齢化率が21%を超える 日本では 2007年

現在2019年は28.4%で世界一の高齢化率(先日の発表では28.7%になった)

15歳以下の子ども率 日本：12.1%(世界最低) ドイツ：13.1% イタリア：13.7%

3、平均寿命と健康寿命

日本と滋賀県の男女別平均寿命と健康寿命



全国	男性	81.25		72.14	
	女性	87.32		74.79	
		平均寿命	全国順位	健康寿命	全国順位
滋賀県	男性	81.78	2	72.30	18
	女性	87.57	12	74.07	最下位

#### 4、女性の社会参画

私はNHK在職中にNHK特集で女性の地位向上を取り上げ、1985年ナイロビで開催された世界女性会議に出席し、女性の社会参画を訴えた。

この時は2000年までに女性の社会参加30%を目標としたが、2000年には未達のため2020年までに延長された。しかし2020年も未達で、30%の目標は変わらずに到達年度目標が外された。

・ジェンダーギャップ（男女が平等でないことを示す指標）最近の調査で日本のランクは153国中121位  
 ・ジェンダーギャップは政治・経済・教育・健康の4分野で評価している。

IPU(国の第1院の議員の女性率) 日本は10.2%で世界193ヶ国中165位 (世界平均は24.3%)

男女給与格差:72.9%(正規社員の比較) パートや非正規を加えると男女給与格差:40%

#### 5、高齢化社会と認知症

高齢者を現役が何人で支えるか、1970年代は9.1人で支える胴上げ型、現在は2.4人で支える騎馬戦型。将来は1.2人で支える肩車型になる。

65歳以上の認知症率 2015年 15% 2025年 20%(700万人) 2030年 25%

孤独でなくグループで生活すると、認知症率は下がる

#### 6、子ども支援等

現在住んでいる軽井沢で「子ども食堂」に関わっているが、子どもの貧困率が16.3%は大きい数字  
 子ども食堂は全国に3000ヶ所以上 児童扶養手当をあげて欲しい。

フードバンク→不要なフード(賞味期限が残り1か月)を集めて活用

軽井沢で子どもの居場所として「あだし食堂」を中央公民館で月1回開催

作り手:20人 利用者:平均55人(大人込み)

#### 7、これからのキーワード 「ともに」 共生、自助、公助、共助、協働

### §フローティングスクール カッター活動指導に参加§

吉川 義一

今年度8月19・20日に、琵琶湖大橋港で、菩提寺小、菩提寺北小、石部南小3校の小学生に漕ぎ方を指導してきました。コロナウイルスの蔓延時期によく実行出来たと考えます。

両日は早朝より一般にいわゆるピーカンでした。カッター艇は 5艇

1艇 児童7名 艇長1名 副艇長1名 1艇計9名の陣容で30分の乗船です。

19日は3ローテーション 20日は2ローテーションで今回の小学校は内陸部の小学校であり琵琶湖の水に親しむ機会が少ないせいか、艇に乗り込む時ぎこちない所あり、湖水に手が触れると引っ込める仕草が見られましたが次第に慣れていました。一般的に水は汚れていると言われていいますので、水に触れることを嫌う児童も居ることが気になりました。児童には水道水として一級の水と指導しています。

艇の乗船は30分程度ですが、5分ほどで慣れ艇の伸び足も進み、児童も楽しんでいました。

大人が参ってしまう強烈な日差しをものとせず、1ローテーションの時間は過ぎました。

この日艇を繫留する浮棧橋は鉄製で、日差しで蓄熱し手で触れれば火傷するほど暑くなって、靴の底がはがれていました。がしかし児童はげんきでした。

## § 温暖化防止部会の活動内容（2020年4月～2020年9月） §

橋本 繁

新型コロナウイルスの感染拡大の為、大学の封鎖があり、部会場所が確保出来なかった。封鎖が解かれても部会員の年齢が高く、リスクを伴うために毎月の定例会が実施出来なかった。安全性がやや確保できてから、従来如く、地球温暖化に関連したテーマを取り上げて、各担当者がそのテーマについての話題提供を行い、会員との自由闊達な議論を行い、問題がどこに有るのか、解決策はどうすれば良いのかの議論を行った。緩和策と適応策のアプローチは今までと同じである。

又、感染拡大前に他施設の見学を行う事が出来たが、関連のシンポジウムやセミナーも殆ど開催が見送られたので参加出来なかった。

### 【緩和策】

#### ○「地熱発電」について（8月）

大阪府環境協会の研修見学会に川島氏が参加され、その報告があった。兵庫県の湯村温泉では、豊富な湯量を活用しての町おこしを計画した。環境省のグリーンニューディール基金を活用した地熱発電である。施設の一部に問題が生じ、当初の計画通りには進行していないとのことである。

#### ○「グリーンリカバリー」について（9月）

欧州を中心に新型コロナウイルスの感染拡大からの経済復興にあたり、経済対策を優先させるのではなく、脱炭素に向けた気候変動対策を更に進めようとグリーンリカバリーの考え方が広まっている。ヨーロッパを中心に行われているこの政策の概要を聞き、今後の在り方を議論した。

### 【適応策・その他】

#### ○「福島第一原発事故後の放射性セシウムの魚への蓄積」について（6月）

原発事故後9年も経過しても川や湖に生息している淡水魚の放射セシウムは基準値を超えている。

この現象を**移行係数**を用いることで説明。

長期に亘っての影響、今後の廃炉作業についての技術とその技術の引継ぎについて議論を行った。

## § 「やまのこ」出前講座について § 担当：園田、原田、川島、下山、三好

新型コロナウイルスの感染防止が求められている状況で、今年度も広報活動の結果、以下の通り出前講座が再開され、今後の予定も決まっています。

NO	小学校	実施日	クラス	担当	アンケート担当
1	笠縫小学校	9/3	4組(2組×2回)	園田 原田 川島	
2	笠縫東小	9/25	3組(1組×3回)	園田 原田 川島	
3	大宝小	10/1	4組(2組×2回)	園田 原田 川島	
4	吉身小	10/19	3組(1組×3回)	園田 原田 川島	
5	河西小	10/	6組(2組×3回)?	園田 原田 川島	
6	矢倉小	10/20	3組(一斉?)	園田 原田 川島	
7	矢倉小	10/20	3組(一斉?)	園田 原田 川島	
8	玉津小	10/21	2組	園田 原田 川島	
9	大宝東小	11/17	4組(2組×2回)	園田 原田 川島	

## § 「うみのこ」出前講座について §

新型コロナウイルスの感染防止で小学校の休みが長引き、「うみのこ」の指導計画作成会議も中止となり、「うみのこ」の運航も9月からの日帰り学習となりました。

出前講座の広報活動も思うように出来ず、9月までの実施校は4校に留まりました。  
今後、学校への広報活動で、出前講座の実績を積み上げていく予定です。

NO	小学校	実施日	クラス	担当	内容
1	甲賀市佐山小学校	9月2日(水)2時限	1クラス	佐瀬	講義のみ
2	甲賀市大原小学校	9月2日(水)4時限	1クラス	佐瀬	講義のみ
3	甲賀市油日小学校	9月2日(水)3時限	1クラス	前田	講義のみ
4	大津市木戸小学校	9月8日(水)2・3時限	2クラス	佐瀬・前田	講義とWS
5	大津市逢坂小学校	10月7日(水)5時限	3クラス	橋田・原田・前田	講義のみ

※ 今年度のシンポジウムは中止

新型コロナウイルスの感染防止を考慮して、今年度の滋賀大学環境シンポジウムは中止することを決定しました。楽しみにしていた関係者には大変申し訳ありません。

※ 今後のスケジュール

10月11月の予定は以下の通りです。

10月度	11月
10/1「やまのこ」出前講座 大宝小	11/4 レイカ大 環境講座
10/7 「うみのこ」出前講座 逢坂小	11/13 理事会
10/8 琵琶湖博物館見学会	11/17 出前講座 大宝東小
10/9 理事会	
10/ 「やまのこ」出前講座 河西小	
10/19「やまのこ」出前講座 吉身小	
10/20「やまのこ」出前講座 矢倉小	
10/26 セブン-イレブン助成金申請予定	

## 編集後記

国内で1月下旬から始まった新型コロナウイルスのニュースは連日各メディアで報じられてきました。

国内ではGOTOトラベルやGOTO EATのキャンペーンで政府は景気回復にやっきになっていますが、最近の感染状況は決して油断を許さない状況です。直近では阪神タイガースの選手の感染で、一軍の選手も登録抹消で阪神ファンはイライラが募るばかりです。

このままの進め方で感染が収束に向かうかは、専門家でも意見が分かれており、高齢者は油断せずに注意が肝要です。

世界の感染状況は依然として厳しい数字が続いています。

右の表は9月25日現在の感染者数ですが、世界中での感染者は3,300万人に迫っていて、ヨーロッパでは英国やフランス、スペイン等の国では、再度規制強化に転じています。

インドの感染者は米国を超えるのではないかと、心配されていますが、ブラジルでも依然として感染者は増加の一途で今後の動向が懸念されます。又中南米全体の感染者も予断を許さない状況です。

オリンピック東京大会はどうなるのでしょうか。バツハ会長は開催に自信をみせていますが、入国管理や入場者の安全を考えると、クリアすべき問題は山積みです。

やっと涼しくなってきましたが、皆様健康第一でご安全に、お元気にお過ごし下さい

滋賀大学「環境学習支援士」会 ☎520-0862 大津市平津 2-5-1 (滋賀大学教育学部内) TEL/FAX : 077-537-7821

世界各国・地域の新型コロナ感染者数(死者数)			
世界全体 32,234,685人 (983,042人)			
米 国	6,978,851(202,818)	イ ラ ク	337,106( 8,799)
イ ン ド	5,818,570( 92,290)	サ ヅ ア ラ ビ ア	331,857( 4,599)
ブ ラ ジ ル	4,657,702(139,808)	ト ル コ	309,790( 7,785)
ロ シ ア	1,123,976( 19,867)	パ キ ス タ ン	309,015( 6,444)
コ ロ ン ビ ア	790,823( 24,746)	イ タ リ ア	304,323( 35,781)
ペ ル ー	782,695( 31,870)	フ ィ リ ピ ン	296,755( 5,127)
メ キ シ コ	715,457( 75,439)	ド イ ツ	281,346( 9,436)
ス ペ イ ン	704,209( 31,118)	イ ン ド ネ シ ア	262,022( 10,105)
ア ルゼ ン チ ン	678,266( 14,766)	イ ス ラ エ ル	214,458( 1,378)
南 ア フ リ カ	667,049( 16,283)	ウ ク ラ イ ナ	196,531( 3,908)
フ ラ ン ス	536,289( 31,524)	カ ナ ダ	151,087( 9,297)
チ リ	451,634( 12,469)	ボ リ ビ ア	132,618( 7,765)
イ ラ ン	436,319( 25,015)	エ ク ア ド ル	131,146( 11,213)
英 国	418,889( 41,991)	カ タ ー ル	124,425( 212)
バ ン グ ラ デ シ ュ	355,384( 5,072)	ル ー マ ニ ア	118,054( 4,591)

(出所)米ジョンズ・ホプキンス大学まとめ  
(注)9月25日午後4時現在、データは公表後修正される可能性がある